佐野市立界小学校　校長室だより第８号

令和2年11月2日

界　の　子

秋冷の心地よい季節となりました。

例年でしたら実りの秋を迎え、陸上記録会や学校音楽祭で子どもたちの活躍する姿が見られますが、今年はとても残念です。

しかし、校内では体育の時間に、持久走記録会が予定されています。自分の目標に向かって力いっぱい頑張る子どもたちを心から応援したいと思います。

一人一人にとって充実の秋となるよう今月もしっかり支援をしていきます。

【学び合い、互いに高め合う子どもの育成】
～他人を思いやる心をもつ子どもを目指して～

本校では、昨年度から栃木県教育委員会および佐野市教育委員会の指定により、道徳教育の研究に取り組んできました。道徳性(特に思いやりの心)を養う授業づくりを中心に研究を進めています。2年次にあたり、11月13日に研究発表会を開催し、その成果を市内各校の先生方にお示しできればと思います。当日は、4学級で研究授業を行います。授業の様子は、後日HP等でご紹介します。

2年2組　　「くりのみ」
3年1組　　「園長先生のなみだ」
6年2組　　「心に灯をともした鉢の木－鉢の木物語－」
チャレンジ3･4年「公園の帰り道」

～～読書の秋～～　本は知識の根本(こんぽん)

11月18日から校内読書週間が始まります。

今年はコロナ感染症防止のために、図書ボランティアの皆様による「読み聞かせ会」を開催することができないのは本当に残念ですが、図書委員会の皆さんがアイディアを出して、楽しい催しを考えています。

デジタル化が進み、読書もスマホでできる時代ですが、指先でページをめくり、印刷のにおいを感じ、文字から様々な知識や情報を得ながら想像を膨らませることは、脳のためにも、とてもよい刺激になるのだそうです。

「木」の根元(ねもと)に印を付けたものが「本」という漢字の成り立ちです。

木の「根本」と書いて「こんぽん」と読みます。「物事がそこから出発して成り立っている、一番大切なもと」という意味です。ですから、「本」という字を含む熟語には、本物、本当、本質、基本、見本など大切なものを表す意味が多くあります。

一冊の書物(書籍)を「本」というのは、本が私たちの「知識の本(もと)」となるからです。読書週間をきっかけに、家庭でも読書が習慣になるといいですね。